

最優秀に中村聡さんと  
日高瑚白さんを選定

建コン協九州  
夢アイデア交流会

建設コンサルタント協会（建コン協）九州支部（田中清支部長）は2日、「夢アイデア交流会2023」を福岡市博多区のTKPガーデンシティ博多新幹線口で開いた。写真。一般の部7人とジュニアの部3人が街づくりに関するアイデアや夢を発表し、最優秀賞に一般の部は「双方向壁面モニター」によるグローバル文化を共有できる社会」の中村聡さん、ジュニアの部は「会いたい人にあえるまち」の日高瑚白さんが選ばれた。

会場参加とオンライン配信を併用して開催。夢アイデア提案募集に応募のあったジュニアの部10作品の中から選ばれた3作品、一般の部33作品の中から選ばれた7作品の提案者がプレゼンテーションを行い、会場とオンラインの投票結果も参考に審査した。



中村さんはテレビ電話のようによく常時接続する双方向壁面モニターを福岡市と姉妹都市の中心部の公共性が

高い場所に設置し、新たな対面コミュニケーションの場を創造することを提案。受賞のあいさつで「夢を語るのが難しい社会で夢を語る場所を作っていたら感謝している。来年以降も参加したい」と話した。日高さんは故人の歴史や周囲の人が持つイメージやAIで読み取り、AIが故人の心を創造し語り掛ける装置を提案した。

このほか優秀賞には一般の部は「Nature Athlete Parks」の谷口勇雅さん、ジュニアの部は「自然とエネルギーの街へ」の油田悠作さんが選ばれた。

審査委員長は「ジュニアの皆さんは将来頼もしい存在と感じた」と総評した。

審査委員らは「人とのつながりを大事にする考えが発表すべてに共通していた」などと講評。日野伸一

が審査委員長を務めた。